

社会 小学校 第5学年

出題の意図及び正答率(小5)

評価の観点等

- 1 社会的な思考・判断
- 2 観察・資料活用 of 技能・表現
- 3 社会的な事象についての知識・理解

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点			正答率	
	大問	小問	通番		1	2	3		
わたしたちの生活と食料生産	1	1	1	資料の数値を正しく読みとり、それらの変化の様子を正しくとらえることができる。		○		76.8	
			2			○		92.1	
			3			○		58.5	
		2	4	目的に応じて関係のある資料を選ぶことができる。		○		74.8	
			3	5	専業農家や兼業農家の意味を正しく理解し、資料から正しく変化を読みとることができる。		○	○	76.5
わたしたちの生活と工業生産	2	1	6	「自動車の組み立て工場」や「部品をつくる工場」について、それぞれの意味やはたらき、特徴や関連、働いている人々の様子などを正しく理解している。			○	90.2	
			7				○	42.1	
		2	8				○	59.2	
			3		9	人のことを考えた自動車生産の工夫について考え判断することができる。	○		
		10			環境のことを考えた自動車生産の工夫について考え判断することができる。	○			78.2
	3	1	11	わが国の工業のさかんな地域が、太平洋側の海沿いに多いことを資料から読み取ったり理解したりしている。		○	○	78.2	
			12	わが国の工業が、機械工業中心であることを資料から読み取ったり理解したりしている。		○	○	93.6	
			13	金属工業でつくられている製品について正しく理解している。			○	93.0	
			14	工業地帯や工業地域が、太平洋側の海沿いに広がっている理由を、貿易や運輸とのかかわりで考え判断することができる。	○			84.4	
	わたしたちの生活と情報	4	1	15	放送局で働いている人々の工夫や努力について、「正しい情報を伝える」という観点から考えることができる。	○			90.4
16				放送局で働いている人々の工夫や努力について、放送局側や視聴者側から考え判断することができる。	○			77.3	
3			17	これからの情報化社会において、情報の有効な活用について考え適切に判断することができる。	○			75.2	
			18		○			87.1	